中国輸入拡大、一定成果か

米中の次官級通商協議

北京で開かれていた米中の次官級による通商協議が9日、予定を1日延長して終了した。中国による米国からの輸入拡大などで一定の成果を見いだした可能性がある。ただ、知財侵害など中国の国策と直結する国製品やサービスの輸入を大規模に増やす、という中国の誓約に焦点を当てた」とした。サイバー攻撃による知財侵害などを念頭に置く「構造問題」の解決も、改めて要求したという。

トランプ氏と中国の習近（シーチン）平（ピン）国家主席は2（ツー）日（ジツ）に米国

懸念が高まり、事態を打開したい中国側はその後、米国への対抗措置を相次いで緩和した。

米国から輸入する自動車に上乗せしていた25％の関税を1月から3カ月間停止。国有穀物大手も25％の

ンビ「ニッチな市場」

ニック社長、発売否定

やりません一

クの津賀一宏社

ヨ（日本時間9

ガスで開催中の

市「CES」会

どのインタビュ

テレビは「ニッ

（市場）」だと

定した。

なテレビ放送で

ジョン（2K）の

あり、臨場感あ

。シャープが成

長戦略の柱と位置づけ、ソニーが今回のCESで参入を打ち出した。韓国や中国のメーカーも、会場で8Kの新商品をPRしている。津賀氏は「放送のソース（番組）が非常に限られている。それだけでは勝負できない。（テレビを出しても）あまり意味はないでしょ」と語った。日本ではNHKが昨年12月に世界初の8K実用放送を始めたが、普及には時間がかかるとみている。（ラスベガス＝米谷陽一）

ガソリン価格 10週連続下落

レギュラー1（リットル）143円

レギュラーガソリンの価格が約9カ月ぶりの安値を

難しい」が20・8％、「すでに65歳超の者を雇用しているが、義務化には反対」が29・7％と反対が50・5％を占めた。日商は近くこの調査結果をもとに意見書をまとめ、政府に提出する。

年明け以降反発しているが、円高が進んで原油の調達コストが下がったという。

■公取、巨大ＩＴの取引調査

公正取引委員会の山田昭典事務総長は9日の記者会見で、米グーグルなどプラットフォーマーと呼ばれる巨大ＩＴ企業の取引実態の調査を今月後半から始める方針を明らかにした。取引企業にとって不利な商慣行などがないかを把握し、政府が検討する規制の参考にする狙いがある。

調査は主にアンケート形式で、グーグルやアップル、フェイスブック、アマゾンといった「ＧＡＦＡ（ガーファ）」と呼ばれる米企業だけでなく、楽天やヤフーといった日本企業も含まれる。こうした企業と取引する企業にも調査をするため、対象は広範囲にわたる見通しだ。山田事務総長は、調査終了前にも判明した状況を公表していく考えも示した。

闘病 ボクにはまだ時間がある

自分の道求め フィジーで見つけた笑顔

カイシャで生きる 7

上 2017年2月、フィジーの南太平洋証券取引所に上場したとき。腕を振り上げているのが谷口浩さん＝本人提供

下左 谷口浩さん

下右 東京にある会社の入り口にぶら下がっているプレート

谷口浩さん(47)のあゆみ

- 1972年 福井県に生まれる
- 96年 中国・上海の大学を中退。香港やタイの不動産開発会社へ
- 97年 父の会社で働く
- 99年 バイクで家を飛び出す。金沢で海外進出支援の協同組合を設立
- 2002年 活路をフィジーに見いだす
- 04年 日本からフィジーへの留学を仲介する会社「South Pacific Free Bird」を設立
- 16年 悪性リンパ腫と診断

昨年12月19日、東京の病院で、谷口浩さん(47)は検診結果を告げられた。

「悪性リンパ腫ではない、ほかのがんになっている可能性があります」

末期のリンパ腫と闘い始めて3年近くたつ。体調が良いわけではなく、何かあると思っていた。ところが、谷口さんは医師の言葉に落ち込まなかった。

〈ボクには、まだ時間がある。生きられるんだ〉

日本から南太平洋へ飛行機で約9時間。常夏の島国・フィジーに2万人を超える日本人留学生を送り込んできた。谷口さんは、そんな会社の社長である。

本社は東京。社名はサウスパシフィックフリーバード。「ボクは鳥のように自由だ。みなさんも羽ばたきませんか？」。そんな思いが込められている。関連会社はフィジーにある南太平洋証券取引所の上場会社だ。

福井県小浜市生まれ。父は建設業やホテルなどを幅広く経営していた。「後継者として父から与えられる人生はイヤだ」と思った。

中国・上海の大学に進んだが、4年生で中退。香港やタイの不動産開発会社を転々とした。所持金がなくなり、仕方なく福井の実家に電話し、飛行機代を送ってもらった。父の会社で働くことが条件だった。

帰国すると、だれよりも早く出社し、だれよりも遅く退社。土日も出勤した。それが谷口さんのプライドだった。ところが、1年余りのち、後継者になれという父と口論。バイクで家を飛び出した。ガソリンが切れた金沢で、中小企業支援の協同組合をつくり、理事長となった。27歳だった。がむしゃらに働いた。

2002年、谷口さんが30歳のとき、高熱が下がらなくなった。近くの病院で医師に告げられた。

「急性の白血病の疑いがあります。もしそうなら、余命半年です」

何もする気がなくなった。ところが、大学病院で調べてもらうと、白血病ではなかった。風呂につかり、久しぶりに鏡を見た。目はつり上がり、眉間（みけん）に縦じわ。笑ってみた。作り笑いが見え見えだった。

〈ボクは幸せか？〉

その年のクリスマスに訪れたフィジーで人生観が変わった。

日本に帰る飛行機の中で顔に筋肉痛を感じていた。

〈笑いすぎたかな〉

みんな笑顔で「BULA（こんにちは）」と声をかけてきた。陽気なおじさんの家では大歓迎を受けた。心の底から笑っていた。

〈フィジーにからむ仕事がしたい〉

協同組合の理事長を辞めて、何をするか考えた。フィジーの人たちは、きれいな英語を使っていた。中国の大学にいたころ、日本人留学生が「本当は米英に留学したかったが、費用が高すぎた」と話していたことを思い出した。

〈そうだ！〉

フィジーで英語を学び、ホームステイもさせてもらう。そうすれば、日本人は年100万円で留学できるし、現地の雇用にもなる。みんなが笑顔になれる。

04年3月、会社を設立し、日本から順調に学生や社会人を送り出した。ところが、08年にリーマン・ショックが起き、留学キャンセルが相次いだ。110人ほどいた社員に賞与が払えず、泣いてわびた。自分の報酬はゼロにした。悔しさが心に深く突き刺さった。

そのころ、就職の内定を取り消す「内定切り」が社会問題となっていた。「業績が回復するまで内定切りした学生を留学させません（こんにちは）」と声をかけてきた。陽気なおじさんの家では大歓迎を受けた。心の底から笑っていた。

〈フィジーにからむ仕事がしたい〉

協同組合の理事長を辞めて、何をするか考えた。フィジーの人たちは、きれいな英語を使っていた。中国の大学にいたころ、日本人留学生が「本当は米英に留学したかったが、費用が高すぎた」と話していたことを思い出した。

〈そうだ！〉

フィジーで英語を学び、ホームステイもさせてもらう。そうすれば、日本人は年100万円で留学できるし、現地の雇用にもなる。みんなが笑顔になれる。

04年3月、会社を設立し、日本から順調に学生や社会人を送り出した。ところが、08年にリーマン・ショックが起き、留学キャンセルが相次いだ。110人ほどいた社員に賞与が払えず、泣いてわびた。自分の報酬はゼロにした。悔しさが心に深く突き刺さった。

そのころ、就職の内定を取り消す「内定切り」が社会問題となっていた。「業績が回復するまで内定切りした学生を留学させません」と企業に提案して回った。留学費用は会社持ちだが、英語を身につけて帰国するので即戦力になる。

契約が取れた。社員たちも奮い立ち、業績は回復していった。

15年12月。おなかに違和感があり、大学病院へ。翌月、医師に告げられた。

「悪性リンパ腫、ステージ4」

もし、自分が死んだら会社はどうなる。会社を公共の存在にしておけば、誰かが継いでくれるだろう。それには。

〈上場だ！〉

17年2月、フィジーで関連会社を上場させた。リーマン・ショックで払えなかった賞与を払えた。

あとは前を向くだけだ。

現在、社員は約200人。谷口さんは、医師に「1日の労働時間は4時間」と言われている。平日の勤務が短い分、土日も働いている。

「ボクを後ろ向きにするには死ですら力不足です」

（編集委員・中島隆）

◇

ご意見は、keizai@asahi.comまで。